

2022年12月27日

主要全国大会の出漕料改定について

競技委員会

協会が主催する主要な全国大会の出漕料については20年以上の長きにわたり据え置いてきました（主な種目の現行の出漕料は2002年3月に設定、舵手つきフォアやエイトなどはそれより以前からで20年以上据え置き）。しかし乍ら、協会の活動を維持する為には、基盤財源の中核である大会出漕料の改定は不可避であるとの判断から12月16日の理事会で審議の上改訂することを決定しました。

適用対象は、2023年4月以降に開催される全日本選手権大会、全日本社会人選手権大会、全日本大学選手権大会、オックスフォード盾レガッタ、全日本新人選手権大会の5大会です。今後、大会毎の要項にて案内しますが、新出漕料は以下の通りです。

種目	(単位：円)		今回改定の 新出漕料	増加額	
	2002年以前の 出漕料	2002年以降 現行の出漕料		増加額	引上率
シングルスカル	5,000	7,000	10,000	3,000	43%
ダブルスカル	10,000	14,000	18,000	4,000	29%
ペア	10,000	14,000	18,000	4,000	29%
舵手つきペア	15,000	16,000	21,000	5,000	31%
フォア	20,000	23,000	30,000	7,000	30%
舵手つきフォア	25,000	25,000	33,000	8,000	32%
クォドルプル	20,000	23,000	30,000	7,000	30%
舵手つきクォドルプル	25,000	25,000	33,000	8,000	32%
エイト	45,000	45,000	60,000	15,000	33%

尚、全日本マスターズ大会については、今後、開催地と協会との役割分担や参加者動向を踏まえた大会主催の在り方等を、関係者で見直していく方針で、大会参加料等についても併せて見直しますので今回の改定の対象外とします。

協会の安定財源の増額を図ることが、事業活動の継続の上でどうしても必要な状況です。財政再建の中心となる大会出漕料の今般の引き上げについて皆様のご理解とご協力を是非ともお願いする次第です。

以上